

部門長の責任の明確化 「部局別予算編成方針」

秋 田 県

○ 取組の概要

平成16年度予算から「枠配分予算編成方式」を導入。そのタイミングで、配分された予算の編成・執行に関する責任の明確化を図る意図で部局ごとに予算編成方針を策定。これは「基本の方針」「重点施策推進事業への取組方針」「行政の効率化への取組方針」等で構成。

○ 秋田県の概要



秋田県の概要

県庁所在地

●秋田県秋田市山王4-1-1

人口

●1,164,389人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

○ 取組について

1. 取組の背景

- ・ 厳しい財政事情を背景に、施策の重点化、効率的な行政運営を実現するために、秋田県では、平成 16 年度予算より予算編成の方式を大幅に見直すこととし、予算の重点化方針の決定と、原部局の裁量性を重視する「枠配分予算編成方式」を導入した。
- ・ この新たな予算編成方式の導入のタイミングで、(平成 16 年度当初予算編成方針を通じて) 配分された予算の編成・執行に関する責任の明確化を図るとの意図で(自己決定と自己責任)、部局ごとに予算編成方針を策定することとした。
(資料) 秋田県平成 16 年度当初予算編成方針より

2. 取組の具体的内容

- 部局別予算編成方針は、次に掲げる事項を記載している。
 - 1 部局予算編成全般に関する基本方針
 - 2 重点施策推進事業(継続・新規)への取組み方針
 - 3 行政の効率化への取組み方針
行革推進プログラムに関する対応
県単独委託費、県単独補助金等の見直し
第三セクターへの対応
職員数の見通し(総務部、教育委員会、警察本部)
 - 4 その他
- また部局別予算編成方針の導入に伴い新たに知事、副知事、出納長及び部局長で構成する「予算編成会議」を設置し、予算編成前に重要事項について庁内において共通認識と予算案に対する主体性(責任感)の醸成を図っている。
(以下は「予算編成会議」の設置目的の図)

新たな予算編成プロセスは部局主体的予算編成
(各部局長は、配分された財源の範囲で、自ら積極的なマネジメントの下に予算編成を行う)

財源があることを前提とした要求する側と査定側との攻防戦

↓

部局が現場主義に基づき、限られた財源の有効配分を自ら工夫

↑

全職員の意識改革

(限られた財源のなかで自らの工夫により、より良い行政サービスを求める雰囲気醸成)

↑

目標と情報の共有とマネジメント機能の発揮



予算編成会議を通じたトップマネジメントの浸透

3. 取組にかかる事業費

- ・ 特に無し

4. 取組の体制

「部局別予算編成方針」の所管課である「財政課」が事務を所掌している。

5. 取組の成果

- ・ 各部局が主体となり責任を持って予算編成するようになった。
- ・ 枠予算導入の成果の一つとして、庁内のアンケートにおいて、担当者の労力が軽減されるなど、基本的に良好な回答が得られている。

(資料) 秋田県財政課へのヒアリングより

6. 今後の課題

- ・ **官房機能の見直しが必要**：枠配分の編成の権限を基本的に各部局に委ねたが、県の財政をどうマネジメントしていくのかということが今後の重要な課題である。
- ・ **投入人員をコストと認識することが希薄**：人員配置をコストとして認識する考え方が庁内では希薄である。

(資料) 秋田県総合政策課、財政課へのヒアリングより